

情報・データサイエンス・AI パッケージ 自己点検・評価報告書 (令和 7 年度実施分)

教育本部全学共通教育推進部
情報教育・データリテラシー部門

0. 総評

情報・データサイエンス・AI パッケージは、令和 6 年度以降、新入生の履修率 100%を達成している。オンデマンドで実施している科目については、授業改善アンケートで、教員と学生、学生間のコミュニケーションが不十分である等の指摘が続いており、AI エージェントの導入など、さらなる改善策を進める計画である。海外協定校と連携したオンライン国際協調学習については、時差のために対応できない時間帯を含め、議論の様子をオンデマンドで確認する等により、すべての学生に国際的視点育成のきっかけを提供できた。

1. 「学内からの視点」における自己点検・評価

情報・データサイエンス・AI パッケージは、令和 6 年度に、新入生の履修率 100%を達成した。オンラインでのグループワーク、TAに尋ねる機会を設けるといった工夫はしているが、オンデマンドで実施している科目で「学生同士や教員と議論したりプレゼンテーションをしたりする機会がありましたか。」が、授業改善アンケートで全学平均を 1 ポイント以上下回る傾向が継続している。海外協定校と連携したオンライン国際協調学習については、海外の学生を含めた学生間や教員との議論、発言の機会を提供できるのが、時差のために午前中の授業に限られる。このため、議論の様子をまとめた動画を視聴することで、すべての学生にオンライン国際協調学習に触れる機会を提供するようにした。さらなる改善のため、海外の大学を増やすことを計画している。平日の夕刻以降と土曜日に実施している、大学院生による学習支援については、対面での対応に加え、オンラインサポートを実施することで、遠隔キャンパスの学生にも対応できるようになった。

2. 「学外からの視点」における自己点検・評価

本パッケージは、地域企業との共同研究によるイノベーション創出などに取り組む広島大学 AI・データイノベーション教育研究センターが企画、運用し、実務経験をもつ教員を配置することで地域と産業界からの視点を取り入れている。また、数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアムが作成したモデルカリキュラム（リテラシーレベル）と、情報処理学会が定める情報学のカリキュラム標準により、学術的なレベルも確保するようにしている。広島大学グローバルキャリアデザインセンター実施の「就職先等からの卒業生・修了生に関するアンケート調査」の質問項目「過去 5 年以内に貴社に採用された広島大学の卒業生・修了生は、以下の資質・能力をどの程度身に付けていましたか。」から、「情報処理能力・データ分析」に関する資質・能力が、前回調査の 2022 年度と比較して 2025 年度は、身に付けているが 5 ポイント、やや身に付けているが 1 ポイント上昇し、合わせて 71%となった。2022 年度は、本パッケージを受講した卒業生はまだいないことから、本パッケージ導入とリテラシーレベル認定がこの要因の一つになっていると考えている。

3. その他（特記事項）

本授業では、データサイエンスと AI に関する教育、シミュレータと AI を利用した体験型教育、国際協調学習等で特色ある実践を行っており、学術論文、関連研究会、国際会議等で発表してきた。令和 7 年度は、大学 ICT 推進協議会、情報教育シンポジウム、および米国開催の IICE2025 などで大学新入生の変化等について報告し、優秀論文賞受賞といった評価も得ている。

参考) "学生の AI 不安記述に現れる倫理的懸念の構造分析," 村上祐子, 稲垣知宏, 情報教育シンポジウム (SSS2025), 武蔵野大学有明キャンパス, 2025 年 8 月 20 日 (優秀論文賞受賞).